



前田 武久 議員

問 道の駅、学習館建設構想は 住民アンケート調査をすべき

答 今のところアンケート調査を する考えはない



活性化が期待される村中心地

質問

道の駅、学習館建設基本構想は去る9月定例議会に、村民の意向調査をする間もなく急遽提案された。村長の夢とする文化センターに準ずる学習館を手まめ館の跡地に建設するなど、村の中心地に道の駅建設構想が提案され、賛成多数で可決された。

過日村長が委嘱の基本構想策定委員会が開

再質問

催されたと聞くが、村の存続と将来に関わる重要な構想ゆえ、広く村民に問いかけ、将来に禍根を残さず慎重に判断すべきと思つが。

答弁(村長)

この事業に対する委員を公募したところ、13名の応募者と各行政区分長で計20名の委員の委嘱をした。既に2回を開催し、3月までに9回開催の予定だ。

アンケート実施をする考えはない。道の駅を核とし、老朽化した手まめ館の建て替え、10年20年先を展望できる基本構想が策定される事を望む。

再質問

基本構想支援事業費550万円の国県への要望内容は。

答弁(村長)

道の駅構想専門家コ

ンサルタントに私の考え、村の考えを話し委託した。

再質問

議会初日に道の駅完成予想図や場所等を極秘として示されたが、策定委員にも示したのか。また2畝の農地取得に村長が自ら交渉にあたりと明言したが相違はないか。

答弁(村長)

第1回策定委員会ですら場所まで言ったかは不明である。トレセン前の山の土取り、私の理想とする残土処理ができるか、委員の賛同を心待ちにしている。土地の交渉は言った記憶がないが、誠意を示し地権者の同意を得たい。

再質問

同僚議員も支援者や村民の意見を聞く間もなく採決に走った方が

多いはず。アンケートの賛否を取り、村民の意志に委ねるのが最善。なぜできないのか。

答弁(村長)

私が5年前から考えていた事業なのでご理解をいただきたい。

再質問

道の駅の規模、敷地

造成、山の土取、運営管理方針は。

答弁(村長)

建設費用などはプロのコンサルタントに委託、土取は数年前の見積もりで2億円、10人の議員からの知恵を借り、集約すれば警沢かもしれないが道の駅構想を9月議会で提案した。

問 森林資源の活用、助成を伺う

答 採算に合うような支援策を考え山林を守る

質問

本村の民有林は6055畝でその内人工林は3588畝である。苦勞して育林した資源も換金できず伐期に達した山林も荒廃しているのが大部分である。

唯一実施されている森林再生事業の除染間伐整備はほんの1部地区である。隣町では基幹産業として林業への

補助を図り所得向上経済効果の実績を上げているが、事業への取り組みへの見解を伺う。

本年度の国の森林再生事業は真坂地区である。森林組合が主体となる事業で下刈り、除伐、間伐を15件実施している。

唯一実施されている森林再生事業の除染間伐整備はほんの1部地区である。隣町では基幹産業として林業への



関根 政雄 議員

問 防犯強化による安全安心な村づくりを示せ

答 警察の指導を受け、防犯対策や防犯カメラ設置を検討する

質問

村の安全安心を確保するために次の各点について伺う。

- ① 公共施設、駐車場での防犯対策の現状は。
- ② 防犯啓蒙法と支援策は。
- ③ 防犯カメラや防犯灯の設置を図るべき。

答弁(村長)

- ① 公共施設で警備を委託しているのは、本庁他9施設である。防犯灯は369基、街路灯は125基である。
- ② 防犯協会、警察署、関係機関や団体と連携を密にしている。
- ③ 防犯カメラは今後の課題だ。防犯灯は要望と必要性を勘案し、設置する。

再質問

個人宅への空き巣も後を絶たないが、個人住宅への防犯カメラ設置の一部負担をしてはどうか。

答弁(村長)

盗難頻度の多い集落に設置するかと検討している。また公営住宅他何力所か車の通過が確認できるように新年度に設置費を予算化した。

問 スポーツ少年団の支援策を示せ

答 運営費支援の相談にいつでも乗る

質問

本村スポーツ振興は年々充実し、スポーツ少年団の人数も増えており、対戦成績も上昇している。これらの組織を維持するための支援策を講ずるべき。

答弁(教育長)

体育協会を通じて1団体5000円の助成金、また要望に応じて施設の改善や練習環境の改善に努めている。

再質問

遠征試合の多いスポーツ少年団の運営費の保護者の負担軽減のため、財政支援を求める。

答弁(教育長)

運営費は保護者の負担であり、時間と経費も大変であると認識する。

答弁(村長)

年間これだけの費用がかかるという要望を

待つ。村には子育て支援の対策資金もあるので、いつでも相談に応じる。

問 青生野小の統合の経過を伺う

答 平成30年4月の統合を目的とする

質問

昨年12月議会にて、地区民の意向を聞く会を開催すると答弁した

が、その後の経過と懇談の内容を伺う。

答弁(教育長)

生徒と保護者からの意見を聞きしたが、全員の見解として、統合を進めて欲しいという意見が寄せられた。区民の皆様の見解を聞き来年度に前向きに進めたい。

再質問

保護者との懇談でどのような意見があったか。

答弁(教育長)

子供が少なくなると保護者の負担が大きく朝夕の送り迎えが大変である。さらに統合することで、子供の持つ能力を伸ばしたいとするのが保護者の意見であった。



年々活動が活発化するスポーツ少年団



遠藤 貴人 議員

問 小・中学校における緊急事態発生時の危機管理体制について

答 定期的に訓練等を行い、日常的な安全管理体制の確立に努めている



本番さながらの不審者対応訓練

質問

近年、学校での危機管理体制が災害や事件のたびに問題になる。現在、村内の小・中学校では教室間連絡通信機器が存在しないが、緊急事態発生時その他において、迅速な対応を可能とするため、次の点について問う。

- ① 緊急事態発生時に備え、教室間連絡通信機器設置が望ましい。
- ② 防犯ベル、ブザー

等、校内の適切な場所に設置が望ましい。

- ③ 危機管理マニュアルの作成が望ましい。
- ④ 通学路に人の動きを視認できる街灯設置が望ましい。

答弁(教育長)

- ① インターホンや電話等の通報装置を設置することは重要で、防犯対策等に効果的な手段である。
- ② 新たに設置するので

はなく、火災用非常ベルで対応できる。

- ③ 学校危機管理対応マニュアルを作成し、定期的に訓練を実施している。

答弁(村長)

- ④ JA東西しらかわから、地域貢献活動寄付の願いがあった。中学校の街灯を全てLEDに変えたい。

再質問

通信機器は効果的である。との答弁は、通信機器は必要であるとの認識か。

答弁(教育長)

大事なことだと思いが、現在の校舎は古く雑然としている。緊急事態には非常ベルを押し、複雑な校舎は別だが、あの程度の学校規模なら大声を出せば隅々までわかる。

再質問

通信機器は必要だが、大声を出す行動で対応できるという考えで間違いないか。

答弁(教育長)

現実問題として不測の事態に大事なことは、現場の人間の判断。そちらの方が現実的に大事である。

再質問

勤務する教師から、現代の教育環境において、通信機器が存在しない教育環境の方が珍しいといった声もあるが。

答弁(教育長)

機器が不要だということではない。子供と教師と機器の関係であり、不必要なことも出てくる。現在、十分とは言えないが安全は確保できる。

再質問

近隣町村の公立校には存在し、村内の公立校に存在しない現状については。

答弁(教育長)

無線などで対応することもできる。全教室あれば良いが予算面もある。各階に1つか2つ連絡がとれる場所があれば、緊急事態の問題は解決出来る。

再質問

村道壇ノ岡線において、街路灯の間隔そのものが不均一で暗い場所が多い。LED変更に合わせて、設置場所の見直しが必要では。

答弁(総務課長)

LED化を検討しているところ。実際に歩くと暗い場所がある。状況を改善するよう、LED化に合わせて場所の移動も実施する。

政務活動費はあるのか!! 住民にとって議会って何?



演壇に立つ樋之口英嗣氏
夢なき者は成功なし…と熱弁。

議会主催による初の開催となる「住民と議会の公開セミナー」が開催されました。ひたちなか市議会前議長の樋之口英嗣氏から「住民にとって議会って」と題し、「住民と議会のあり方」や「住民主体のまちづくり」について、情熱ある講演をいただきました。また意見交換会では、村民から議員に対しての質問も相次ぎ、村が抱えている課題に関しての意見交換も活発に交わされ「今後も意見交換会を開催して欲しい」との要望も多数寄せられました。

議員の考えを お聞きしたい!

村民 村議会議員に政務調査費は支給されているのか。

議長 村議会議員には政務調査費はない。

村民 人口減少の対策、空き家対策をどのように考えているのか。また道の駅構想の施設整備場所は。

村長 村出身者や疲れた方々を癒すために人口減少対策に取り組む。道の駅構想は委員会検討中。場所は農業振興にあたらぬ敷地を探したい。

議員 道の駅は構想を練るための仮の名称。この事業は10年から20年かかるとの説明を受けた。

議員 人口減少の解消には地場産業の振興、トレンセン前の法面をとり、絞高とのアクセス、村中心地のスモールシティ構想、道の駅構想には賛成する。

議員 本日、村内の参加者が少ないのが寂しい。道の駅構想は村民の意見を十分に聞きながら進めなければならぬ。

村民 空き家対策に対しての議員の考えを聞きたい。

議員 この問題は国全体の課題、村の将来を考え、こうしたいという意見を届けていただきたい。

議員 村に寄贈された家屋を障害者グループホームに活用してはどの意見もある。

議員 空き家を村が買い取り、村外者に入居していただき一定の入居があれば贈与するのも対策だ。

村民 空き家を使い村民が作った作品などを展示できる施設に変えて欲しい。

【ご意見を抜粋して紹介しました】



活発な意見を交わす参加者の皆様

人口減少・空き家対策を示せ!!



1年間貴重なご意見をお寄せいただいた、議会モニターの方々へ感謝状を送らせていただきました。

住民参加の活発な
議会運営に努めます!

議会モニター6名に御礼



議会モニターの皆様からひと言



蛭田 昌一さん

議員の皆様には、村発展のために一層のご尽力をしていただきたい。



高橋 康治さん

議員の真摯な前向きな姿勢に学ばせていただいた。ますます活発な議会になるよう期待する。



北條 美子さん

第一回の公開セミナーは内容が固い。村民に分かりやすくして欲しい。女性や若い世代が参加するなど広い世代に参加して欲しかった。今後も議会モニターを積み上げてほしい。



長井 進さん

議会傍聴はいい体験。議会だよりに目を通すようになり、村政に関心を持つようになった。こうした活動が開かれた議会、村民に信頼される議会となるものと考える。期待しています。

村民からのアンケート

公開セミナーの感想をお聞かせください。

- ・質問に対して具体的に答えて欲しい。総論が多すぎて残念。
- ・首長や政治家の試験官は有権者であるという言葉に感動。
- ・今後も2〜3回と続けて欲しい。若者が集まればいい。
- ・講師は政治家の基本知識を持っている方。村の議員も勉強して欲しい。
- ・何を伝えなかったのかよくわからなかった。
- ・意見交換会が発言しにくい。テーマを絞り込むべき。
- ・村民の期待に応えるセミナーであった。
- ・おもしろい取り組み。もう少し時間があればいい。
- ・村民の声を直接話す機会としては重要である。
- ・初めての取り組みでよかった。住民の声をもっと聞けるとよかった。

※アンケートの一部を紹介しました。尚、議会事務局に原本がありますので、どなたでも閲覧することができます。

追跡!

第6弾

過去の一般質問が行政に反映されているか、その後の経過を検証します。

どうなったっぺ? あの一般質問

質問・提言

有形文化財の東光寺の金剛力士立像は現状を保存し、後生に残せる状態か。

平成25年9月議会

答弁

県へ修復計画の申請をし、認証を得てから、業者を選定する。修復費の3分の1は県の助成金を見込んでいる。

経過及び結果

木質剥離止め(表面にアクリル樹脂の注入)や欠損部分の補強など、2年間をかけ、570万円で修復した。



修復された木造金剛力士立像

質問・提言

村道新宿古殿線又石(さすいし)地区は冬期間の日照が少なく、急カーブで傾斜もきつい。降雪後の氷結で住民に支障をきたしている。

平成27年12月議会

答弁

凍結抑制舗装工法(アメニウレタン工法)で施工し、スリップ防止を図り、交通の安全を確保する。

経過及び結果

排水性舗装の走行部分の弾性のあるウレタン樹脂を浸透・充填させた凍結制御舗装にて改良工事が施工される。



凍結制御舗装で改良される石井草地内村道

質問・提言

ふるさと納税の返礼品のアイデアによっては村の特産品や観光資源のPRに大きな効果があるのではないか。見直しと広報を徹底すべき。

平成27年6月議会

答弁

納税者に感心を持っていただくために用途や成果を広報さめがわ等で返礼品のギフトセットの見直しを図り、金額の幅を広げる。

経過及び結果

ガイドブックを作成し、ギフトセットの見直しはされたが、返礼品の金額は見直しされていない。現在はホームページを更新中。



納税者の関心が高まる村特産品

※定例議会での「一般質問」は議員の「政策提言」や、「村民の皆様の声」を村政に反映できる唯一の場となります。村の事業計画には慎重な検討が必要であり、費用対効果や予算措置の諸事情により時間を要する場合があります。

村民の広場

村民の皆さんに信頼され、身近な議会づくりを目指すために、子ども達をはじめとする村民の皆様にご登場していただくページです。

私の夢シリーズ⑦

佐藤 広基くん (鮫川中3年)

プログラマーの経験を生かし 海外協力隊として人の役に立ちたい



- 大字赤坂西野字火打石
- 佐藤義雄さんの長男
- 鮫川中で野球部副主将、報道委員会委員長として活躍中
- 平成25年度の第1回こども模擬議会の議長を歴任

私の将来の夢は、webプログラマーです。webプログラマーとは、ユーザーが快適にインターネットを利用できるようなプログラムを作る仕事です。これからの日本では、情報通信技術が今よりも発達していくと思います。その中でwebプログラマーの需要が高くなるので、将来の仕事として選びました。私は情報処理検定の資格は持っていません。ですが、高校卒業時までには情報処理検定1級を取得します。その後は国家試験である情報処理技術者試験の合格を目指して頑張ります。また、日常生活で暇な時にプログラミング言語の勉強をすることが、webプログラマーへの第一歩だと思います。それを毎日継続して行ないたいと思います。

私はwebプログラマーとしての活動が終わった後にも小さな夢があります。それは海外協力隊としてプログラマーとして活動してきた経験を生かして開発途上国の人のために活動をすることです。そのためにプログラマーとして活動をしている間に、行きたい国の言語を勉強したいと思います。そして1人でも多くの人の役にたてるような人間になりたいです。

12月定例会

議会傍聴者からのひと言

傍聴者アンケートより

- ・ 一般質問をするという事は日頃、議員活動をしっかりとしている事だと思ふ。ただし何でも質問するのではなく、関係課に事前に調査して回答できれば一般質問をしなくてもよいのでは。
- ・ 身近な案件の質問がなければ、村は良くなる。言葉に出して質問することは良いこと。
- ・ 感情的であやふやな答弁は残念。
- ・ 長い目で結果が出そうな答弁があり、ありがたい。
- ・ 一問一答方式なので質問者の考えている事、答弁者の考えている事をトコトン納得するまで議論することができ大変良い。
- ・ 前期は議員同士の話し声が聞こえてとても気になったが、今期は良くなった。安心して聞いていられる。
- ・ 初心忘るべからず、村と村民が安心安全で楽しく元気で過ごすことができるように日頃から頑張ってください。
- ・ 議員活動について出身地(大字で村政報告のような形で年1回ぐらい開催してもらえたら、もっと多くの村民が議会活動の様子がわかるのではないですか。

第4回こども模擬議会が開催されます

鮫川小6年生、青生野小5・6年生によるこども模擬議会が2月17日(金)、午前10時より役場2階議場において開催されます。皆様の傍聴をお待ちします。

ふるさと鮫川への想い シリーズ②③

スポーツは私の人生そのもの

雪降る季節になると、本坂を上り、大塩を通り、田んぼ一面雪景色の中、中学校まで歩いたことが浮かんできます。バスケット、軟式テニスクラブ活動で、我が家と学校の往復の毎日でした。棚倉高

校時代、陸上競技で広島、群馬インターハイに出場しつつ、夢は体育の先生になりたい。体育大学に行きたい。しかし、あの時代我が家の経済状態では体育大学には行かせられない絶対反対と親



水野 初代さん(旧姓石井)
(大字赤坂西野字酒垂出身)
茨城県取手市在住

◆プロフィール

【生年月日】昭和27年9月22日

◎東京都社会保険診療報酬
支払基金 勤務経験

◎日本体育協会テニス指導員

◎相気健康法指導師免許取得

【家 族】 2人

の言葉でした。ただ短大家政科なら許す。教員になれるのならと家政科の教員免許を習得して、鮫川中学校の家政科の教員養成研修でお世話になりましたが、3県の県教員採用試験には全滅でした。結婚し、子育てしながら、趣味としてテニスを楽しんでいました。昭和61年、63年と全国レディース大会茨城大会で優勝して全国大会に2回参加しました。運よく昭和63年には全国大会準優勝し、韓国親善試合大会代表に選ばれ、ソウルでテニス親善大使の役目をしてきました。これを機に体育の先生ではないが、夢に近い日本体育協会テニス指導員の免許を習得し、第20回全国レディース大会茨城チームの監督を仰せつかりベスト8の結果でした。免許習得してまだいま64歳、週4日テニスのレッスンをし、76歳を筆頭に52歳の方々とテニスを楽しんでいます。



チームの監督として活躍された水野さん(前列右)

50歳近くになったとき、主人のアドバイスで、ばあさんになったら、テニスコーチはできなくなるから何か生涯の仕事を見つけたら??

47歳の時テニス仲間と群馬県岩淵山に登山をした帰り銭湯で足圧法相気健康法に巡り合い、指導士さんから勧められて、前橋まで車で通い、相気健康法(リンパマッサージ)の指導士の免許を習得し17年になりました。テニスレッスン後、つくば、阿見まで出張し、いろいろな方々と出会い、勉強させてもらっています。ただいま、2つの仕事の掛け持ちですが、夢を捨てずに生きてきたこと、今回の原稿依頼で再認識できたことうれしく思います。

今年も議会だよりの 充実を目指します

議会だよりを一人でも多くの村民の皆様に読んでいただけるよう広報編集委員が一丸となり頑張ります。



編集後記

初心忘るべからず、是々非々で信念、意志を貫徹、議決権を行使するのが道理ですが、その難しさは議員になってから分かります。村民のためにと公約、有権者から授かった議員バッチの重さを十分噛みしめ、さらに自分の納得いく活動をと、この議会だよりで村民の方々へ周知し、住民の皆様からの監視をいただきながら2年余りとなった残任期間を精一杯議会活動を果たして参る覚悟があります。更なるご支援とご愛読、ご憚のないご意見などをお寄せいただけることを編集員一同お待ち致しております。

(編集委員)